

令和5年度墨田区立学校「体力テスト」の結果について

1 調査の目的

「令和5年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査（東京都統一体力テスト）」の結果から、墨田区内の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の現状を明らかにし、児童・生徒の健康の保持・増進と体力づくりを推進する施策の改善と一層の充実を図る。

2 調査実施期間及び調査対象等

- (1) 調査実施期間 令和5年5月1日から令和5年6月30日まで
- (2) 調査対象 墨田区立小・中学校全学年児童・生徒（夜間学級除く。）
- (3) 実施した学校

校種	学校数	実施学校数（実施率）	学年・人数				
			1年	2年	3年	4年	
小学校	25校	25校 (100%)	1年	1,781人	4年	1,707人	小学校総数 10,318人
			2年	1,822人	5年	1,685人	
			3年	1,709人	6年	1,614人	
中学校	10校	10校 (100%)	1年	1,273人			中学校総数 3,702人
			2年	1,243人			
			3年	1,186人			

3 調査項目

○体力テスト

(1) 小学校

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 中学校

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、持久走

※ 20mシャトルラン及び持久走（男子1500m、女子1000m）は選択

4 調査結果

(1) 男子

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
墨田区平均値（R5）	30.0	37.6	43.8	48.3	54.6	60.5	34.5	43.1	48.8
東京都平均値（R5）	29.1	36.4	42.4	47.8	53.1	58.9	32.7	40.9	47.4
都平均との差異	+0.9	+1.2	+1.4	+0.5	+1.5	+1.6	+1.8	+2.2	+1.4
令和5年度全国※					52.6			41.2	
墨田区平均値（R4）	30.4	37.6	43.6	49.4	54.4	60.1	34.3	41.6	48.8

(2) 女子

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
墨田区平均値（R5）	29.6	38.0	44.0	50.5	55.9	61.5	44.5	49.2	50.5
東京都平均値（R5）	28.7	36.2	42.5	48.6	54.5	59.6	41.9	46.8	49.2
都平均との差異	+0.9	+1.8	+1.5	+1.9	+1.4	+1.9	+2.6	+2.4	+1.3
令和5年度全国※					54.3			47.1	
墨田区平均値（R4）	30.8	38.4	45.1	50.4	56.5	61.7	43.9	47.1	50.5

※ 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書【スポーツ庁】（小学校第5学年、中学校第2学年実施）

5 結果の分析

小学校、中学校ともに、全学年において男女とも都平均を上回った。調査項目別では、小学校は「反復横とび」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅とび」が都の平均より大きく上回った。全校で体育月間を実施し、意欲が高まるような取組カードの活用などを行ったことが成果につながったと考えられる。また、昨年度課題であった「ソフトボール投げ」も都平均を上回る結果となった。一人1台端末で繰り返し見られる競技のポイントを解説した動画の配信や投げる運動を取り入れた遊びの周知、児童集会等での実技披露を行うなど、各学校で長い期間繰り返し取り組んだ結果と考える。中学校では「長座体前屈」、「反復横とび」、「立ち幅とび」が都の平均より大きく上回った。全校で授業の導入時に筋トシや俊敏性を高めるダッシュ、柔軟性を高めるストレッチを意識的に取り組んだ成果が表れたと考える。一方、小学校では「長座体前屈」、中学校では「持久走」、「20mシャトルラン」で都平均より下回る学年が多く、柔軟性や持続力の向上が引き続きの課題である。日常生活の中で課題を改善するための活動を取り入れる工夫や運動に対する児童・生徒の意欲を高めることも課題である。

6 今後の取組予定

- (1) 教育委員会事務局指導室は、本調査の結果を踏まえ、体力向上に資する取組を各学校に情報提供する。
- (2) 各学校は、自校の調査結果を踏まえ、令和5年度「体力向上プラン」、「一校一取組運動」の改善を図り、体力向上を更に推進する。